令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	5	種別	有限会社	団体名	有限会社湯遊しおのえ		
所在地	香川県高松市塩江町安原上東390番地1						
電話番号	087-893-1378		FAX番号			所管部局	創造都市推進局 観光交流課 観光エリア振興室
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	ー						
代表者職氏名	代表取締役　喜多 維昭			設立年月日	平成9年3月24日		
資本金	8,900　千円		市出資等額(割合)	2,250　千円	（ 25.3% ）		
設立目的	地域内外との連携 環境の保全 地域の活性化						
事業概要	「道の駅しおのえ」施設の管理運営委託及び同施設内での産直品・お土産品等の販売 内場ダム下トイレの清掃						
評価対象決算期	令和7年3月1日　～　令和8年2月28日						

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	5 人	5 人	5 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
役員平均年間報酬	140　千円	480　千円	60　千円
職員数(非常勤含む)	5 人	5 人	5 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	1,993　千円	1,706　千円	2,064　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
施設の管理・運営受託事業	「道の駅しおのえ」施設の利用者が常に快適に利用できるような施設全体の管理運営	1,291　千円
農林産物等の販売事業	管理受託施設内での地元産直品及び土産品等の販売	20,928　千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	0　千円	0　千円	0　千円
委託料	1,306　千円	1,306　千円	1,306　千円
うち指定管理料	0　千円	0　千円	0　千円
その他	0　千円	0　千円	0　千円

5　財務状況

①損益計算書

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
売上高	83,979　千円	87,137　千円	49,380　千円
売上原価	59,541　千円	61,138　千円	31,385　千円
売上総利益	24,438　千円	25,999　千円	17,995　千円
販売費及び一般管理費	22,219　千円	20,728　千円	19,776　千円
営業利益(△の場合は損失)	2,219　千円	5,271　千円	△ 1,781　千円
営業外収益	53　千円	25　千円	813　千円
営業外費用	0　千円	0　千円	0　千円
経常利益(△の場合は損失)	2,272　千円	5,296　千円	△ 968　千円
特別利益	510　千円	0　千円	0　千円
特別損失	0　千円	0　千円	0　千円
法人税等	909　千円	80　千円	80　千円
当期純利益(△の場合は損失)	1,873　千円	5,216　千円	△ 1,048　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	流動資産	23,354　千円	20,234　千円	14,919　千円
	固定資産	770　千円	367　千円	473　千円
資産計		24,124　千円	20,601　千円	15,392　千円
	流動負債	7,345　千円	5,696　千円	5,702　千円
	固定負債	0　千円	0　千円	0　千円
負債計		7,345　千円	5,696　千円	5,702　千円
	資本金	8,900　千円	8,900　千円	8,900　千円
	利益剰余金等	7,879　千円	6,006　千円	790　千円
純資産計		16,779　千円	14,906　千円	9,690　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

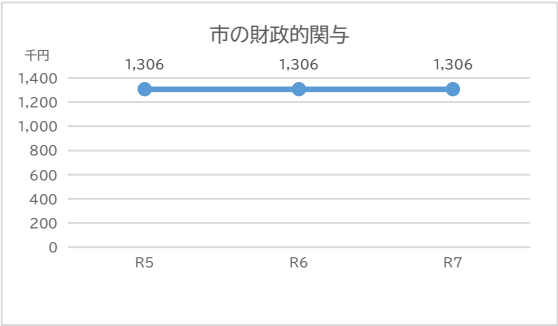
＜主な経営指標＞

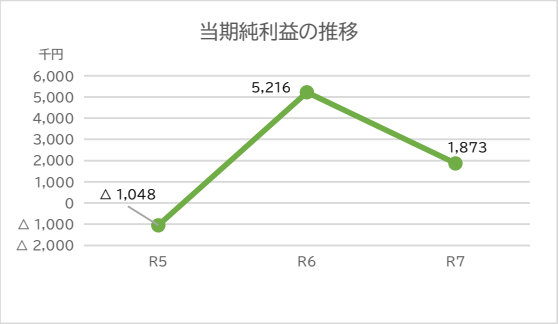
区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	318.0　%	355.2　%	261.6　%
自己資本比率 （純資産計÷負債･純資計産）	69.6　%	72.4　%	63.0　%

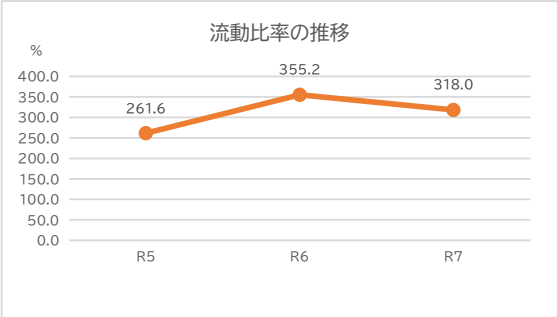
6　経営評価の総括

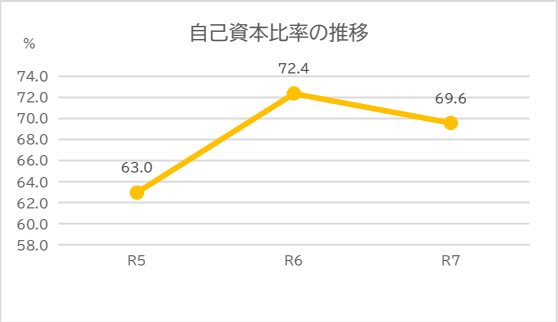
項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命･市が期待する役割への対応	来訪者が気持ちよく使用できるトイレ及び施設の清掃を心がけている。公共性のある施設なので、何人も公平に利用できる対応をしている。地域の物産品の開発･販売をしている。SNSによる発信をし、お勧めの商品･新商品･季節の商品のPRをしている。また、看板の設置･第2駐車場の整備などを通じて、誘客･顧客の利便性の向上を図っている。	施設の適切な維持管理に努め、来訪者が快適に利用できる環境整備が図られている。 加えて、地域特産物の開発･販売やSNSを活用した情報発信に積極的に取り組み、地域の魅力発信及び、誘客促進に寄与している。 また、看板設置や第2駐車場整備など、利用者への利便性に向けた取組も進められている。 今後も、地域資源を活用した魅力向上とサービス向上に継続して取り組み、施設利用者及び、地域活性化へのさらなる貢献を期待する。
②業務･組織管理	正社員3名パート2名によるシフト制にて業務を実施し、経費の削減をしつつ、来訪者への声かけを実施し、お客様のニーズ把握にも務めている。	限られた人員の中で、シフト制による効率的な業務運営を行い、経費削減に努めながら施設運営をしている点は評価できる。 今後も、効率的な運営を継続するとともに、利用者満足度向上に向けた取組を進め安定的な運営につなげることを期待する。
③財務状況	令和6年度から、仕入れの見直し、シフトの見直しなどを実施し、流動比率は高い水準であり、自己資本比率も良好である。現在、赤字経営から黒字経営へと改善しているところである。 令和7年度は、看板設置･第2駐車場整備等を実施したため純利益は減少しているが、資産は増加している。	黒字経営へ改善していることに関しては、継続的な経営努力の成果として認められる。 令和7年度の看板設置や駐車場整備により、利用者利便性や誘客向上のに向けた投資を実施したことにより、利益は減少しているものの、資産の増加につながっている点は、評価できる。 今後も持続的な収支管理等の取組を継続することを期待する。
④今後の方向性及び課題	高齢化による農産物の出品者の減少をどのように解決するかが課題である。今後も、地域に密着した経営をし、持続可能な管理運営を目指す。 うどん･サンドウィッチなど、気軽に食べることができる物を提供することで、休憩所･軽食の飲食場所として提供することを継続したい。	高齢化に伴う農産物出品者の減少は依然として大きな課題であり、今後の施設の安定的な運営に影響があると認識している。 そのような状況の中で、軽食の提供の幅を増やす等で、単なる物販施設にとどまらず、地域住民や観光客が気軽に立ち寄れる交流･休憩の場としての機能向上を図るとともに、施設運営の持続性の観点から、出品者の確保商品構成の見直し等、地域の実情に即した取組が進むことを期待する。

【再掲】各指標の推移


市の財政的関与
千円
1,306
1,306
1,306
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
R5
R6
R7


当期純利益の推移
千円
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
△ 1,000
△ 2,000
△ 1,048
5,216
1,873
R5
R6
R7


流動比率の推移
%
400.0
350.0
300.0
250.0
200.0
150.0
100.0
50.0
0.0
261.6
355.2
318.0
R5
R6
R7


自己資本比率の推移
%
74.0
72.0
70.0
68.0
66.0
64.0
62.0
60.0
58.0
63.0
72.4
69.6
R5
R6
R7